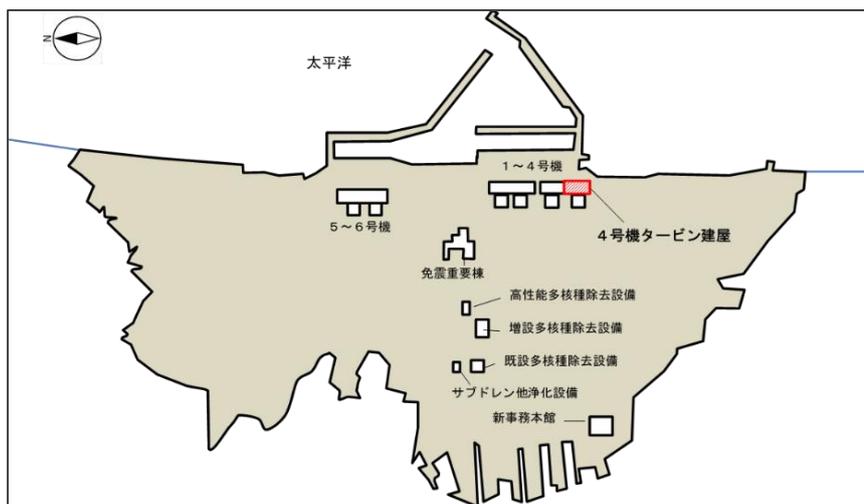


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年7月21日（木）
- 2 確認箇所
建屋内RO循環設備（4号機タービン建屋2階）
- 3 確認項目
建屋内RO循環設備におけるスケール防止剤タンクの戻り配管からの漏えいの対応状況
- 4 確認結果の概要
建屋内RO循環設備^{※1}は、建屋滞留水に含まれる塩分を除去するための設備のひとつであり、平成28年に4号機タービン建屋2階に設置された。
今回は、令和4年5月30日に確認された建屋内RO装置（B）のスケール防止剤^{※2}タンクの戻り配管からの漏えいについて、対応状況を確認した。
（図1）（前回確認：[令和3年7月14日](#)）
 - ・スケール防止剤（硫酸）の漏えいが確認されたスケール防止剤タンクの戻り配管は養生されており、保温材が外されていた。（写真1）
 - ・前回確認時、令和元年度に発生したスケール防止剤タンクの隣にある次亜塩素酸ソーダタンク（B）からの漏えいに関連して、同タンクが撤去されていることを確認したが、今回、同タンクが新しく設置されていることを確認した。（写真2）
 - ・現地確認時には、建屋内RO循環設備に関して計装品関連の交換作業が行われており、建屋内RO循環設備は2系統とも稼働していなかった。（写真3）

※1 建屋内RO循環設備：逆浸透膜装置（RO）（35m³/時×2系列）及びこれに付帯する設備からなり、平成28年1月28日に実施計画の変更認可を受けて、屋外に敷設されている汚染水等の移送配管を縮小することによる放射性物質の漏えいリスク低減や原子炉注水用の処理済水供給の信頼性向上を目的に、4号機タービン建屋2階に設置された。

※2 スケール防止剤：配管内の詰まりを防止するための薬剤。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
B系スケール防止剤タンクと戻り配管の養生状況



(写真2-1)
次亜塩素酸ソーダタンク (B) 撤去の状況 (黄色枠部分)
(令和3年7月14日撮影)



(写真2-2)
交換された次亜塩素酸ソーダタンク (B) の状況
(令和4年7月21日撮影)



(写真 2 - 3)
次亜塩素酸ソーダタンク (B) の堰
の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。